

三鷹会場

太宰治展示室
三鷹の此の小さい家



会期:令和4年3月8日(火)～7月24日(日)
会場:企画展示室
住所:三鷹市下連雀3-35-1 CORAL 5階
三鷹市美術ギャラリー

TEL:0422-79-0033

開館時間:午前10時から午後6時まで

観覧無料

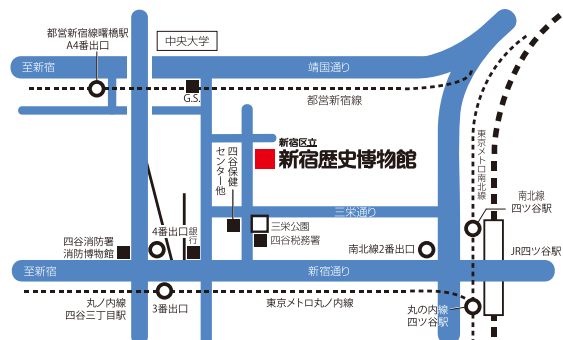
休館日:3月14、22、23、28日 4月4、11～14、18、25日
5月2、9、16、23、25～31日 6月1～3、6、13、20、27日
7月4、11～15、19日

監修:宮坂覺(国際芥川龍之介学会ISAS元会長・
フェリス女学院大学名誉教授)



新宿会場

新宿区立
新宿歴史博物館
Shinjuku Historical Museum



会期:令和4年3月1日(火)～7月24日(日)
会場:1階れきはくギャラリー・常設展示室
住所:新宿区四谷三栄町12-16

TEL:03-3359-2131

開館時間:午前9時半から午後5時半まで(入館
は午後5時まで)

常設展観覧料(一般300円、小・中学生100円)

休館日:第2・第4月曜(月曜日が休日の場合は
開館し、その翌平日休館)



田端会場

田端文士村記念館
TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



■JR山手線・京浜東北線田端駅北口より徒歩2分



会期:令和4年3月1日(火)～7月24日(日)
会場:常設展示スペース
住所:北区田端6-1-2

TEL:03-5685-5171

開館時間:午前10時から午後5時まで(入館は
午後4時半まで)

観覧無料

休館日:月曜(祝日の時は火・水曜)、祝日の翌日
(土・日の時は翌火曜)、5月9～20日



協働企画展示 三鷹 × 新宿 × 田端

太宰治展示室
三鷹の此の小さい家



新宿区立
新宿歴史博物館
Shinjuku Historical Museum



田端文士村記念館
TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



提供:弘前市立郷土文学館

提供:藤沢市文書館

2022 3/1 TUE ▶ 7/24 SUN
三鷹会場は 3/8 TUE

さらに、芥川の生誕日（3月1日）から命日の「河童忌」（7月24日）の間に、太宰の「桜桃忌」（6月19日）があるこの期間中、☆河童忌・桜桃忌スタンプラリー★を実施します。

【芥川龍之介と新宿・田端】

結婚して三鷹(現下連雀2丁目)に家を借りてからは一度も転居することなく、家族との生活によって精神的安定を得、作風にも明るさを取り戻しました。晩年作ばかりが注目される太宰ですが、創作が阻まれる戦中にこそ手を緩めず作品を書き連ねたことは、文学界における大きな功績と言えます。戦後は朝日新聞で連載を確約されるまでの流行作家となりますが、玉川上水に入水し絶命。時代の寵児が告げた突然の別れは、芥川と同様に衝撃的な最期となりました。享年38歳。

新宿の次に移り住んだのは、田端（現田端1丁目）です。ここから夏目漱石宅（現新宿区立漱石山房記念館）の木曜会に通い、漱石に激賞を受け24歳で彗星のごとく文壇デビューしました。そして、流行作家となり、今日我々が親しんでいる数多くの作品を残し、足早に大正という時代を駆け抜けました。昭和に改元された7ヶ月後、芥川は、田端の自宅で＜ぼんやりした不安＞という言葉を残して自ら命を絶ち、社会に強烈な衝撃を与えました。享年35歳。



展示資料紹介



太宰が弘前高等学校在学中に下宿先で使用していたもの。入学から僅かひと月後に芥川が自殺し衝撃を受けた。本棚には芥川の諸作品が並んでいたという。



太宰が作中に「芥川の苦悩」と記し、志賀直哉と相克した最晩年作「如是我聞」。当初は1年の連載予定だったという。

日本古来の藝術文化

菊池寛

武三介

龍

芥川が河童の図と「禿の頭」、菊池が「日本古来の藝術文化」と揮毫した合作色紙。河童図は芥川が死の直前に描いた絵に酷似しているため、晩年の作だと推察される。



第四次「新思潮」掲載2作目の小説。「孤独地獄」とは仏教用語で、現世の何処でも忽然と表れる地獄のこと。

☆河童忌・桜桃忌スタンプラリー☆

景 品：各館でスタンプを押した方に記念品（各施設でデザインが異なります）を、さらに、全3館のスタンプを集めた方には**特別な^{しおり}葉**をプレゼント！

※スタンプラリーの台紙は各館受付にて無料配布いたします。栞は各種先着1000名。

ご参加
無料！

